



# 熊本市 感染症発生動向調査 速報



## 蚊媒介感染症について

FORTH ミャンマーからの輸入例として報告されたチクングニア熱の増加に関する情報

厚生労働省の通知によると、今年6月以降ミャンマーが感染地域と推定されるチクングニア熱の輸入例が3年ぶりに複数例報告されたことから、厚生労働省検疫所ホームページ(FORTH)などでも注意喚起されています。夏休みに海外へ渡航された方の帰国や、ラグビーワールドカップなどの開催も控えており、今後、流行地域からの渡航者の増加も見込まれることから、改めて蚊媒介感染症への知識と予防対策が重要です。蚊媒介の感染症は他にもデング熱、シカウイルス感染症、日本脳炎、マラリア、黄熱、ウエストナイル熱などがあります。



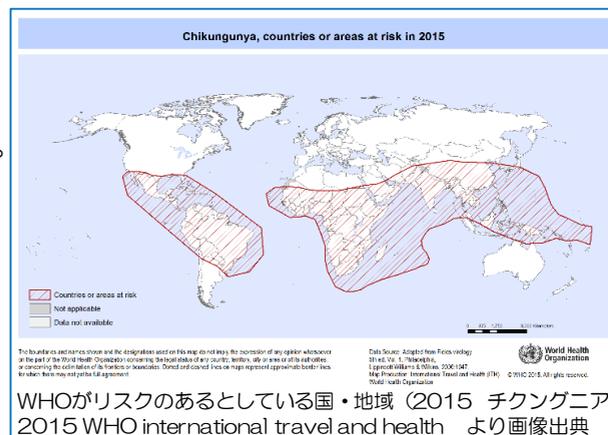
## チクングニア熱とは

ウイルスを保有している蚊によってうつる感染症で、ウイルスを保有しているヒト（動物）→蚊→ヒトへと感染が広がります。ヒトからヒトへは感染しません。潜伏期間は2～12日（通常3～7日）です。発熱・関節炎・発疹の3主徴が特徴であり、関節の腫脹を伴う場合もあります。関節痛は急性症状が治まっても、数ヶ月から数年にわたって持続することがあります。そのほか主要な症状としては、全身倦怠・頭痛・筋肉痛・リンパ節腫脹です。また出血傾向（鼻出血・歯肉出血）や悪心・嘔吐をきたすこともあります。予後は比較的良好ですが、死にいたる場合もあります。

**治療法**…ワクチンも、それ特有の抗ウイルス薬による治療法もありません。治療は症状を和らげる形で行われます。感染した人は、感染の連鎖を断ちきり、感染した蚊による流行が広がらないようにするために、少なくとも症状がある最初の数日は家の中にいて、蚊帳の中にいるなどして、それ以上蚊に刺される事がないようにすることが望めます。

**予防法**…蚊に刺されないことが大切です。長袖のシャツ、ズボンを着て、できるだけ皮膚の露出部を少なくするようにしましょう。

**帰国時や帰国後**に、症状が出た場合は、必ず受診前に医療機関へ電話で相談し指示に従って下さい。その際①症状 ②渡航先 ③滞在期間 ④予防接種歴 ⑤動物との接触の有無 ⑥旅行中の行動 ⑦宿泊先の状況（虫除け対策が出来ていたか）などを伝えて下さい。



期 間		2019年 33週		2019年 34週	
		8/12～8/18		8/19～8/25（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ	➡	0	0.00	0	0.00
RSウイルス感染症 ⚠	➡	39	2.44	25	1.56
咽頭結膜熱（プール熱） ⚠	➡	12	0.75	14	0.88
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	➡	15	0.94	18	1.13
感染性胃腸炎 ⚠	➡	31	1.94	32	2.00
水痘（みずぼうそう）	➡	3	0.19	1	0.06
手足口病	➡	14	0.88	16	1.00
伝染性紅斑（りんご病）	➡	4	0.25	4	0.25
突発性発しん	➡	8	0.50	9	0.56
ヘルパンギーナ	➡	16	1.00	15	0.94
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	➡	1	0.06	2	0.13
急性出血性結膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目） ⚠	➡	9	1.80	22	4.40
細菌性髄膜炎	➡	0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎	➡	2	0.40	1	0.20
マイコプラズマ肺炎	➡	0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	➡	0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	➡	0	0.00	0	0.00